

<<<今号の目次>>>

1. 取組事例 ワーク・ライフ・バランス推進による「従業員価値の向上」を目指して  
西部ガス株式会社
2. 最新情報  
《お知らせ》 5件  
《地方公共団体等の動き》 10件

---

■□■1. 取組事例



ワーク・ライフ・バランス推進による「従業員価値の向上」を目指して  
西部ガス株式会社

---

事業の持続的発展に向け、多様な人材が持てる能力を最大限に生かし、いきいきと活躍できる環境づくり、「ダイバーシティ」を推進するとともに、その環境整備として「働き方改革」に取り組んでいます。

■主な取組

1：「しごと Re:フォーム推進活動」を通じた生産性の向上

生産性向上に対するトップメッセージ発信と、ボトムアップによる業務改善・効率化の具体化を組み合わせ、全社横断的に活動を展開しています。推進母体となる部門横断型プロジェクトを設置し、各部署で繁忙期・閑散期に応じた残業時間を見積もり、その枠内で業務に取り組むための改善を継続的に実施しています。

2：両立支援制度の充実及び柔軟な働き方の推進

小学校3年生まで利用可能な短時間勤務制度は、子供の成長に合わせてパターンを柔軟に変更する社員も多く、多様な働き方の推進を実践しています。また職場復帰の支援策として、本人、上司、人事総務担当、保健師などが定期的な面談の場を設けることをルール化した「ママリターンプログラム」を実践しています。

柔軟な働き方を推進する観点から「フレックスタイム制」等を積極的に導入することで、自律的かつ効率的な働き方を推進するとともに、今年度より在宅勤務をはじめとするテレワークの試験導入にも着手しています。

■取組の成果

働き方の見直しにより、時間外労働を全社で2011年からの5年間で約25%削減し、年間1

人当たりの残業時間合計が 120 時間（10 時間未満／月）を下回る状況となりました。また 3 年毎に実施する「社員意識調査」では、仕事や職場でのやりがいを持ち、働いている社員の割合が増加し、社員満足度の向上にも寄与しています。

■利用・活用した社員の声（育児支援制度に関して）

- ・「柔軟な時短制度がなければ働き続けるという選択肢をきつと選べなかった」（営業/女性）
- ・「育児休職の復職支援における上司としての役割やポイントが明確になった」（本社企画/男性）

■会社情報

- ・会社名：西部ガス株式会社
- ・事業内容：都市ガスを主とするエネルギー事業
- ・本社所在地：福岡市博多区千代1丁目17番1号
- ・社員数：1,486人（男性：1,250人・女性：236人）（2018年3月末時点）

---

■□■ 2. 最新情報 ■□■

---

《お知らせ》

【内閣府】

「家族や地域の大切さに関する作品コンクール」では家族団らんや子育ての写真、家族へのメッセージ（手紙・メール）を募集中！

子育て家族やそれを支える地域の大切さに関する「写真」、家族に宛てた感謝の「手紙・メール」を募集しています。スマートフォンからも応募可能。ぜひ、あなたのあたたかい気持ちを作品にして御応募ください。

募集期間：2018年7月1日（日）～9月7日（金）

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/family/index.html>

※11月18日（日）は「家族の日」、11月11日（日）から25日（土）までの2週間は「家族の週間」です。

【内閣府ほか】

6月26日（火）に、テレワーク・デイズ2018プレイベントを開催しました。

野田総務大臣、世耕経済産業大臣、小池都知事、テレワーク・デイズの特別協力団体の代表者及びテレワーク普及推進に関わる共催団体の代表によるフォトセッション、テレワーク先進企業等による基調講演、パネルディスカッションが行われ、各団体のテレワークに対する取り組み方やビジョンを通じて、テレワーク・デイズに向けての機運を高めました。

[http://www.soumu.go.jp/photo\\_gallery/02koho03\\_03002584.html](http://www.soumu.go.jp/photo_gallery/02koho03_03002584.html)

引き続きテレワーク・デイズ2018参加企業・団体募集中です。

～まずはやってみる～ テレワークの国民運動に積極的に御参加ください！

<https://teleworkdays.jp/>

#### 【厚生労働省】

従業員の仕事と育児・仕事と介護の両立を支援し、人材定着につなげましょう。育児プランナー・介護プランナーがサポートします！（2018年4月）

厚生労働省では、従業員の育児休業取得、介護離職についてお悩みの事業主や人事労務担当者に対し、社会保険労務士等の資格を有する育児プランナー・介護プランナーを無料で派遣し、従業員の仕事と育児・仕事と介護の両立を支援するための取組方法についてアドバイスしています。従業員の円滑な育児休業・介護休業等の取得から職場復帰の流れを作り、復帰後の働き方を整備することで、「働きやすく働き続けられる会社」を作っていきます。事業主の皆様、ぜひこの機会に育児プランナー・介護プランナーによる支援を御活用ください。

また、7月17、18日には大阪府にて「育休復帰支援セミナー」「仕事と介護の両立支援セミナー」を開催します。セミナー後には、無料の相談会も開催しますのでぜひ御活用ください。（事前申込制・参加無料）

プランナー及びセミナーの申込方法など詳細はこちらを御覧ください。

<http://ikuji-kaigo.com/>

#### 【厚生労働省】

「イクメン企業アワード2018」「イクボスアワード2018」「イクメンスピーチ甲子園2018」応募受付中です

厚生労働省では、育児を積極的に行う男性＝「イクメン」を応援し、男性の育児休業取得を促進するイクメンプロジェクトの一環として、今年度も「イクメン企業アワード」「イクボスアワード」「イクメンスピーチ甲子園」を実施します。

男性が育児しやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業・管理職の方、育児と仕事を両立している男性の方からの御応募をお待ちしております。

応募方法、応募書類などは以下のURLを御覧ください。

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp>

#### 【文部科学省】

平成30年度「男女共同参画推進フォーラム」開催

男女共同参画、ダイバーシティ、女性の活躍、ワーク・ライフ・バランス、働き方改革を推進する行政、女性団体、NPO、大学、企業の担当者が一堂に会し、男女共同参画社会実現について、共に考え、ネットワークを形成する場を設けます。どなたでもお気軽に御参加いただけます。事前申込みは必要ありませんので、直接会場にお越しください。

内容

シンポジウム「新しい暮らしのカタチ～働き方×幸福度～」8/30（木）

パネリスト：正能茉優氏（株式会社ハピキラ FACTORY 代表取締役社長）

阿部裕志氏（株式会社巡の環代表取締役）

コーディネーター：荻原なつ子氏（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授）

特別講演「すべての男女が活躍でき、働きやすく暮らしやすい社会を創る」8/31(金)

講師：国谷裕子氏（東京藝術大学理事/キャスター）

多世代ワールドカフェ 200 人会 9/1(土)

若者から見た社会課題を発信。世代を超えたディスカッションをします。

日程：8月30日（木）～9月1日（土）

会場：国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町）

対象：男女共同参画に関心のある方

[https://www.nwec.jp/event/training/g\\_forum2018.html](https://www.nwec.jp/event/training/g_forum2018.html)

お問合せ先：国立女性教育会館事業課

TEL：0493-62-6724/6425

## 《地方公共団体の動き》

### 【宮城県】

「イクボスシンポジウム in 仙南」を開催します

→新しい時代の理想の上司「イクボス」の必要性を認識し、積極的に管理職の意識改革を行うことを目的に、男女が共に活躍できる社会について考えるシンポジウムを開催します。

日時：7月31日（火）14:00～16:00、場所：槻木生涯学習センター 申込期限：7月20日

（金）、定員：200名※定員に達し次第締切

<https://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/689374.pdf>

### 【福島県】

LGBT 講演会「教師のための次世代育成人権セミナー」

→当事者の担任としての実体験、国立女性教育会館（NWEC）における専門職員の経験から、各地で LGBT に関する講演を行っている千葉県柏市立西原小学校教頭 中光理恵氏を講師に迎え、学校現場における実例や LGBT の児童生徒への対応を学びます。

日時：8月3日（金）13:30～15:30、場所：福島県男女共生センター 1F 研修ホール、参加

費：無料、定員：先着 200 名

<http://www.f-miraikan.or.jp/topics/2018/07/lgbt.html>

### 【神奈川県】

働き方改革トップセミナー「働き方改革 その多様な視点」

→慶應義塾大学大学院特任教授 高橋俊介氏を講師に迎え、“働き方改革”本来の目的を整理して背景やポイントを探ります。

日時：7月31日（火）14:30～16:30、会場：TKP ガーデンシティ横浜（ホールB）、対象：県内事業所に勤務する経営者等

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/z4r/koryukai/20180731.html>

### 【千葉県】

「働き方改革アドバイザー」を無料で派遣します

→従業員の満足度や労働生産性の向上につながるアドバイス、助成金などの有用な情報を提供する「働き方改革アドバイザー」の派遣企業の募集を開始しました。対象：県内企業（本社所在地は県外でも可）、募集企業数：20社程度、実施期間：12月末まで（派遣回数は1社あたり3回～5回程度）、利用料：無料

<https://www.pref.chiba.lg.jp/koyou/worklifebalance/hatarakikata/h30hatarakikata-adviser.html>

### 【石川県】

「育休からの職場復帰・再就職支援セミナー」を開催します！（参加費無料・託児あり）

→育休からの職場復帰や再就職を前に、モヤモヤした不安を解消しましょう。

秋コース：平成30年9月4日、11日、18日、25日の毎週火曜日 9:30～12:00

冬コース：平成31年2月20日、27日、3月6日、13日の毎週水曜日 9:30～12:00

[https://www.i-oyacomi.net/wlb/news\\_sub.php?wt\\_no=188](https://www.i-oyacomi.net/wlb/news_sub.php?wt_no=188)

### 【大阪府】 大阪市

「地域出前セミナー」実施団体募集

→大阪市内の地域団体・学校・企業等へ、男女共同参画にかかわる研修及び授業を「届ける」プログラムです。テーマの希望に合わせて、企画から当日の実施運営までを、担当区のクレオ大阪が行います。対象：大阪市内の団体・グループ・サークル・企業・学校等、実施回数：1団体につき1回（1区あたり先着2団体）実施期間：平成31年3月末まで、費用：無料

<http://www.creo-osaka.or.jp/demae/demae2018.html>

### 【奈良県】

「親子で考えようカラダのこと～自分のカラダを守るには～」受講者募集

→正しい情報を伝えるために、親子で性についてどのような話をすればいいのかを考える講座を開催します。一緒に性の話を聴き、自分や相手の命を尊重することを学び、親子で話し合うきっかけをつくりましょう。

日時：8月18日（土）、14:00～16:00 場所：奈良県女性センター 申込：8月10日

（金）必着、定員：15組30名（先着順）

<http://www.pref.nara.jp/50090.htm>

### 【兵庫県】

平成30年度「第1回ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定」にかかる申請企業等の募集

→兵庫県では、多様な働き方の導入や仕事と家庭生活の両立の促進、多様な人材の活用等の先進的な取組みを実施している企業等を募集しています。申込期限：7月13日（金）

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20180524\\_34a4dd794dbfe558492582970005d6d3.htm](https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20180524_34a4dd794dbfe558492582970005d6d3.htm)

1

### 【高知県】

「子育てが100倍！楽しくなる♪夫婦のコミュニケーションセミナー」受講者募集

→夫婦で育児に向き合い、自分たちらしい家族作りをするためのコツがわかる、ママとパパのためのコミュニケーション講座です。

日時：7月21日（土）13:30～16:30、定員：15組（先着順）、参加費：1組500円

<http://www.sole-kochi.or.jp/info/dtl.php?ID=1214&routekbn=S>

### 【佐賀県】

「まなびいフェスタ」出展者募集

→10月7日（日）に開催される「まなびいフェスタ」において、生涯学習に取り組まれている個人やサークル、団体等の「ワークショップ」「作品展示」「ミニ講座・イベントの出展」を募集します。応募締切：7月15日（日）

[http://www.avance.or.jp/syougai/\\_2797/\\_3668.html](http://www.avance.or.jp/syougai/_2797/_3668.html)

---

### 【編集後記】

7月11日は「世界人口デー」。1987年に世界の人口が50億人を突破したことで制定

されました。日本をみると、国立社会保障・人口問題研究所が3月に発表したデータでは、2045年には65歳以上人口が50%以上を占める市区町村が3割近くになるとのこと。長い人生をどう生きるか。まだまだ考えることが多くなりそうです。

---

このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。  
このまま御返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/>